

株式会社エム・エー・シー、テクノロジー

製造から開発、メンテナンスまで
お客様を多角的にサポート！

1984年創業のエム・エー・シーグループは、半導体事業・管材事業を柱とする2社5部門から構成されています。半導体事業では、国内に5工場を構え、半導体・液晶工場のお客様向けに事業を展開。お客様のご要望に応え、あらゆる製品に対応します。

わが社のここがイチ押し！

各分野の専門家が集結し
充実した一貫サービスをご提供します

半導体や液晶の製造装置の設計からメンテナンス、パーツ部品洗浄にいたるまで、当社がお客様を全面的にバックアップ。より効率的で安全に作業していただけるよう、コストダウンの方法などあらゆる提案活動を行っています。お客様のご要望を的確に捉え、現場の課題をプロがともに解決します。

【セールス事業部】

半導体・液晶の製造工程で使用されるパーツと消耗パーツを中心に、お客様のご要望に合わせた当社独自のユニット販売を行っています。



【プロダクト部】

装置設計・制作をはじめ、各種機器・装置などの製造工程における工事設備の開発や工事設備の新設・改造に伴う「純水ライン」、「薬液ライン」、「ガスライン」の配管工事を請け負います。



【メンテナンス部】

半導体製造工場の真空系をはじめとした工事設備のメンテナンス。また、メーカーとの製造装置保守契約締結によるメーカー代行メンテナンスを行います。



【洗浄再生事業部】

どんな部品も洗浄・再生します。半導体・液晶製造装置付帯設備のパーツ洗浄、オーバーホールをはじめ、パーティクル管理を行い、高度な精密洗浄が可能です。



市内でいきいきと頑張る企業をご紹介！地元就職を考えている学生の皆さんも必見ですよ



▲2011年、荒尾に設立された九州営業所

【企業概要】

- 所在地 [本社] 新潟県上越市上中田 1178
[九州営業所] 荒尾市水野 1725-20
- 業種 卸売業など
- 主な仕事内容 半導体製造装置および消耗品の販売・パーツ洗浄など
- 資本金 2,000万円
- 従業員数 九州営業所 4人 [テクノロジー全体 136人・グループ全体 201人]
- ホームページ <http://www.mac-ltd.co.jp/>
- 連絡先 ☎ 65-9031 (九州営業所)



わが社のいきいき Boy

目指すは熟練の先輩たち！
一つ一つ丁寧に学びたい

専門性の高い技術や知識に魅かれ、半年前に入社しました。初心者からのスタートなので、先輩たちのプロフェッショナルな仕事に圧倒されっぱなしです。まずは一つ一つ着実に技術や知識を身に付け、早く1人前になりたいです。今は、新しくできることが増えていくのが大きなやりがいですね。



洗浄再生事業部
宮本貴文さん(28)
1人前になりたいです。今は、新しくできることが増えていくのが大きなやりがいですね。

社長からのメッセージ

企業活動を通して
喜びをつなぐ役割を果たしたい

当社は、創業以来、「お客様に喜んでいただく」ことを目指してきました。目の前のお客様に喜んでいただくことが、そこにつながる誰かをまた喜ばせ、そのつながりによって自らが、また世界がより良きものになると信じているからです。我々はこの原理に基づき、より良い製品・技術をお客様に提案し続けます。



代表取締役社長
山口康秀さん

荒尾市民病院 Informations

市民を愛する 市民に愛される 病院へ
Arao Municipal Hospital

—医療コラム—

睡眠時無呼吸症候群 (SAS) をご存知ですか



荒尾市民病院副院長 循環器内科 梶原一郎

1. 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) とは

眠っているときに無呼吸・低呼吸状態になる病気で、SAS (Sleep Apnea Syndrome) と呼ばれています。十分に睡眠がとれず、日中の眠気、集中力、活力に欠け、居眠りがちになります。有病率は日本人の2～4%と推定されており頻度の多い疾患です。肥満の人に多い疾患と考えられてきましたが、痩せていてもかかります。

2. SAS の特徴は

無呼吸による睡眠障害により、昼間に強い眠気を生じ交通事故の発生する確率が7倍にも高まります。高血圧、狭心症、脳卒中などを将来的に発生する危険性が2～4倍も高まるといわれています。日中の強い眠気を感じない人でも、睡眠時にいびきをかく、呼吸が止まる、何度も目が覚める(夜中に何度かトイレに行く)、寝汗をかいてしまう、起きた時に口が渴いている、頭が痛くズキズキする、熟睡感がない、だるさ・倦怠感がある、日中に集中力が続かない、いつも疲労感がある、そんな人は一度、SASの検査を受ける必要があります。



お父さん、ちゃんと息してるのかしら…

3. SAS かも…、検査はどうする

SASの検査は自宅でできる簡易型の終夜睡眠ポリグラフ (polysomnography) PSG と、入院して行う精密型 PSG があります。以前から外来での簡易型 PSG を行ってきましたが、本年5月から精密型 PSG を導入し、両方の検査ができるようになりました。精密型 PSG は入院が必要ですが、SASの重症度や睡眠への詳細な影響を評価でき、治療方針の決定に有用です。簡易型検査でSASが疑われる場合は、週末などを利用して夕方から入院し、当院で一泊して精密型 PSG による検査をします。翌朝には退院となり、結果は後日外来で説明します。



▲簡易型 PSG の評価装置。自宅で装着して、SASの簡易検査が可能です。▲左写真の装置を体の各部位に装着し、鼻や口腔の気流、体内の酸素飽和度、睡眠時の体位・体動などを計測します

4. 重症の SAS のときはどう治療する？

持続的陽圧換気療法 (CPAP) があります。睡眠中に鼻にマスクを装着し、CPAP装置により室内の空気に「圧力」をかけて「持続的」に送り込み、上気道を閉じないようにして、「気道閉塞」(無呼吸)を予防する治療法です。

当院ではSASの診断、治療、管理まで全て行えます。SASを疑うような症状がある人は、お気軽に循環器内科外来にご連絡、ご相談してください。



◀持続的陽圧換気療法 (CPAP) での SAS 治療は左の図のような装置を装着して行います

市民公開講座に
参加しませんか

市民公開講座
日時 8月9日(火)
午後3時～4時
テーマ 「熱中症について」
講師 研修医 友枝李果
その他 講座は事前申込不要、参加費無料、場所は地域医療研修センター(市民病院・外来棟4階)です。お気軽にご参加ください。

市民病院総務課
☎ 63・1115